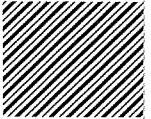


I 調査結果の概要



1 産地上場水揚量、水揚価額及び卸売価格の動き（203漁港）

全国の主要漁港の水産物の上場水揚量（貝類・海藻類を除く魚類・水産動物類の上場水揚量計。）は294万8,581 tで、前年に比べ8%増加した。

水揚価額は5,299億円で、前年に比べ11%減少した。

卸売価格（水揚価額を上場水揚量で除した1 kg当たりの価格。）は180円で、前年に比べ17%低下した。（表1、図1）

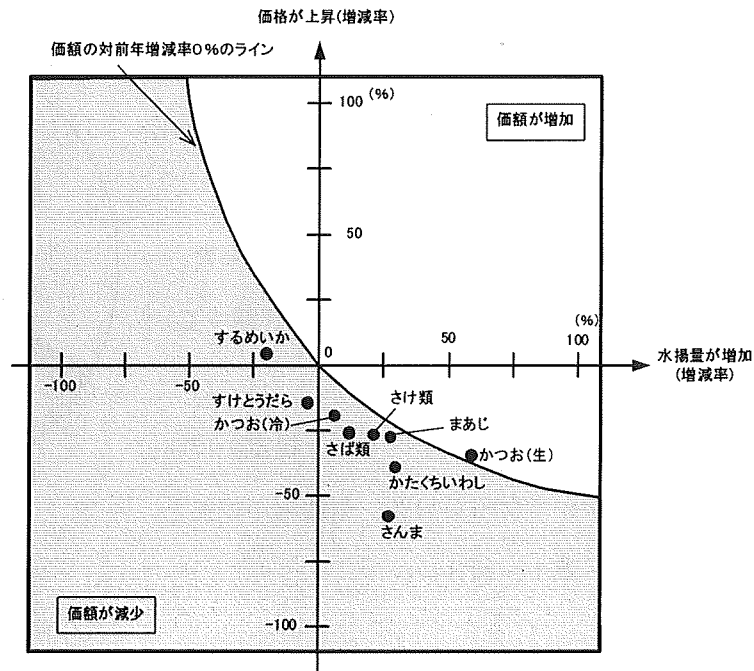
なお、203漁港の水揚量が平成15年の海面漁業・養殖業生産量（貝類・海藻類を除く。）453万8,302 tに占める割合は前年同様の65%であった。

表1 品目別上場水揚量、水揚価額、卸売価格の推移（水揚量上位10品目）

		単位 { 水揚量: t 価額: 百万円 価格: 1kg当たり円										
品目		計	かたくち いわし	さば類	さんま	まあじ	かつお (冷凍)	すけとう だら	さけ類	ほっけ	するめいか	かつお
年次	上場水揚量											
	平. 11	3 276 208	296 202	328 020	135 889	154 844	169 824	280 719	84 949	143 341	105 294	86 162
	12	3 097 787	226 793	273 380	211 826	171 559	193 385	223 611	74 450	138 014	168 097	109 188
	13	3 018 797	185 351	357 376	268 169	154 084	181 360	147 256	100 321	123 122	147 905	80 864
	14	2 732 536	267 119	277 540	203 665	158 860	213 404	169 455	104 598	114 040	149 407	67 770
	15	2 948 581	346 744	310 144	258 626	202 727	199 774	162 514	127 157	122 779	119 284	106 609
対前年比(%)												
15/14		108	130	112	127	128	94	96	122	108	80	157
水揚価額	平. 11	686 107	9 101	35 450	26 320	34 830	25 642	15 666	34 558	5 474	25 931	21 745
	12	629 085	8 552	29 540	33 170	34 064	21 037	17 129	30 188	4 622	26 066	19 398
	13	607 296	9 355	32 546	28 132	31 977	22 410	12 604	26 880	5 146	22 022	24 448
	14	596 840	11 009	29 398	32 148	32 567	27 160	14 362	27 147	4 432	29 340	23 128
	15	529 937	8 837	24 433	17 227	29 945	20 641	11 842	24 166	3 504	24 339	23 600
	対前年比(%)											
15/14		89	80	83	54	92	76	82	89	79	83	102
卸売価格	平. 11	209	31	108	194	225	151	56	407	38	246	252
	12	203	38	108	157	199	109	77	408	33	155	178
	13	201	50	91	105	208	124	86	268	42	149	302
	14	218	41	106	158	205	127	85	260	39	196	341
	15	180	25	79	67	148	103	73	190	29	204	221
	対前年比(%)											
15/14		83	61	75	42	72	81	86	73	74	104	65

注：平成11、12年は205漁港、13、14、15年は203漁港の結果である。

図1 主要品目別水揚価額の増減（対前年比較）



(1) 主要品目の動向

主要品目の動向は、以下のとおりである。

ア かたくちいわし

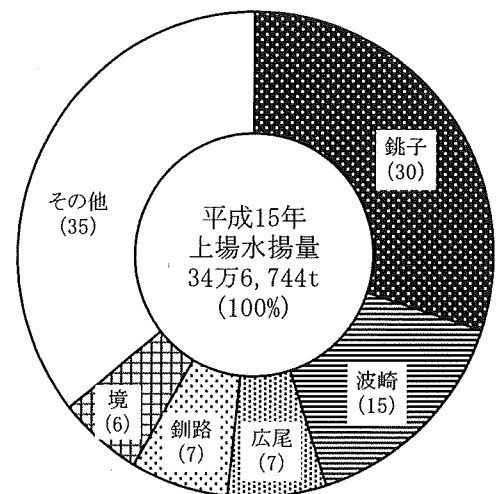
上場水揚量は34万6,744tで、前年に比べ30%増加した。

これは、銚子、波崎、広尾等で増加したためである。

卸売価格は25円で、前年に比べ39%低下した。

水揚価額は88億円で、前年に比べ20%減少した。

上場水揚量の漁港別割合をみると、銚子が30%と最も高く、次いで波崎が15%、広尾が7%となっている。（表1、図2）

図2 かたくちいわしの
上場水揚量の漁港別割合

イ さんま

上場水揚量は25万8,626tで、前年に比べ27%増加した。

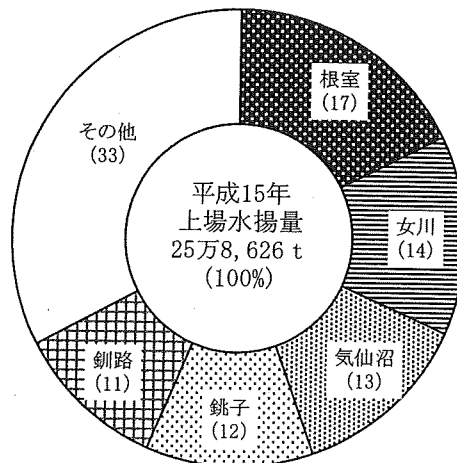
これは、根室、釧路等で減少したものの、女川、気仙沼、銚子等で増加したためである。

卸売価格は67円で、前年に比べ58%低下した。

水揚価額は172億円で、前年に比べ46%減少した。

上場水揚量の漁港別割合をみると、根室が17%と最も高く、次いで女川が14%、気仙沼が13%となっている。（表1、図3）

図3 さんまの上場水揚量の漁港別割合



ウ まあじ

上場水揚量は20万2,727 tで、前年に比べ28%増加した。

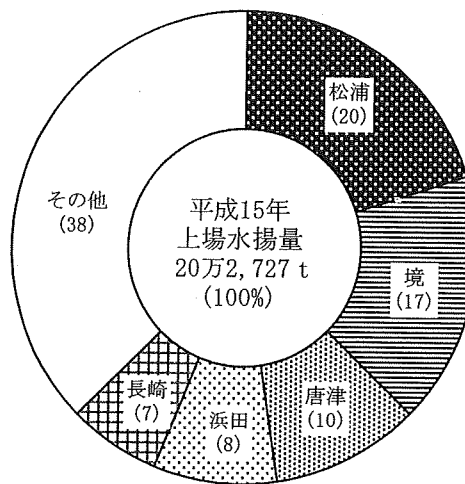
これは、松浦、境を始め、全体的に増加したためである。

卸売価格は148円で、前年に比べ28%低下した。

水揚価額は299億円で、前年に比べ8%減少した。

上場水揚量の漁港別割合をみると、松浦が20%と最も高く、次いで境が17%、唐津が10%となっている。（表1、図4）

図4 まあじの上場水揚量の漁港別割合



エ するめいか

上場水揚量は11万9,284tで、前年に比べ20%減少した。

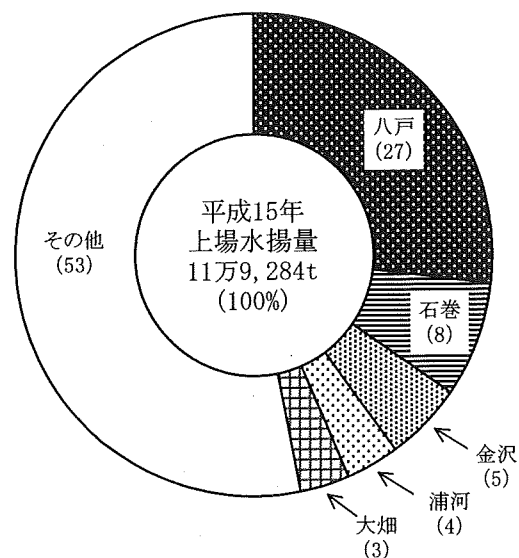
これは、金沢、浦河等で増加したものの、八戸、石巻等で減少したためである。

卸売価格は204円で、前年に比べ4%上昇した。

水揚価額は243億円で、前年に比べ17%減少した。

上場水揚量の漁港別割合をみると、八戸が27%と最も高く、次いで石巻が8%、金沢が5%となっている。（表1、図5）

図5 するめいかの
上場水揚量の漁港別割合



オ かつお

上場水揚量は10万6,609tで、前年に比べ57%増加した。

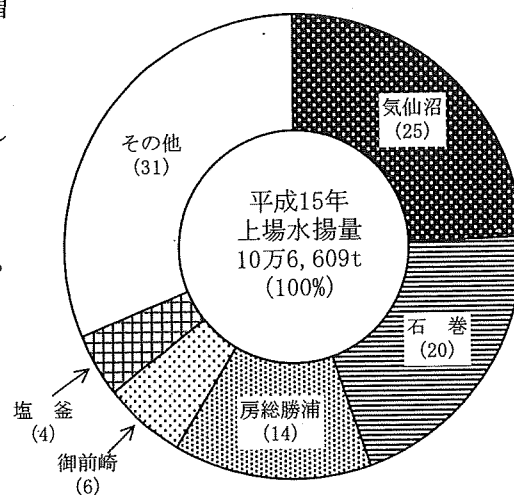
これは、気仙沼、石巻を始め、全体的に増加したためである。

卸売価格は221円で、前年に比べ35%低下した。

水揚価額は236億円で、前年に比べ2%増加した。

上場水揚量の漁港別割合をみると、気仙沼が25%と最も高く、次いで石巻が20%、房総勝浦が14%となっている。（表1、図6）

図6 かつおの
上場水揚量の漁港別割合



(2) 主要漁港の動向

漁港別の上場水揚量をみると、焼津が23万8,666 t（構成割合 8 %）で最も多く、次いで銚子が21万9,612 t（同 7 %）、釧路が16万1,602 t（同 6 %）、八戸が14万7,675 t（同 5 %）、石巻が12万8,603 t（同 4 %）の順となっている。

なお、上位10漁港の上場水揚量は、全体の45%を占めている。（表 2、図 7）

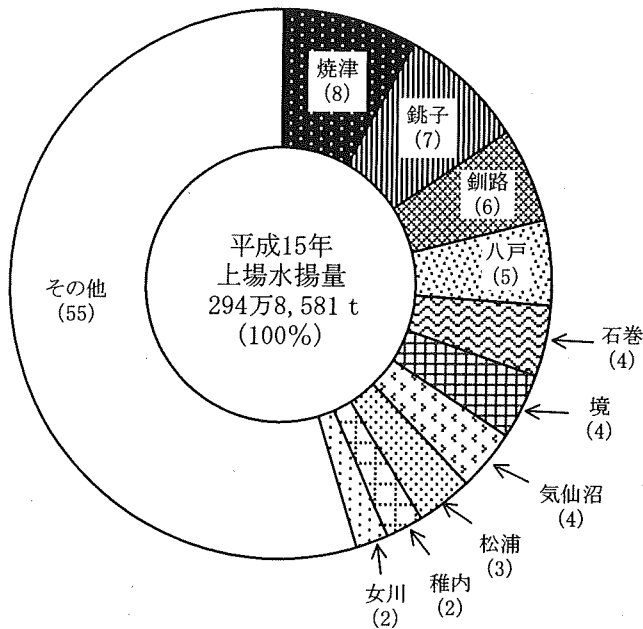
水揚量上位 5 漁港の動向は以下のとおりである。（表 2、図 8）

表 2 漁港別上場水揚量・水揚価額の推移（水揚量上位 5 漁港）

漁 港 年 次	計	単位				
		焼 津 (静 岡)	銚 子 (千 葉)	釧 路 (北 海 道)	八 戸 (青 森)	石 巻 (宮 城)
上場水揚量						
平. 11	3 276 208	244 240	221 613	213 836	222 030	123 033
12	3 097 787	248 390	200 648	181 175	240 173	129 186
13	3 018 797	216 228	237 127	126 474	213 644	162 552
14	2 732 536	248 690	187 425	152 439	160 676	108 306
15	2 948 581	238 666	219 612	161 602	147 675	128 603
対前年比						
15/14	108	96	117	106	92	119
水揚価額						
平. 11	686 107	55 967	24 426	27 024	38 663	17 034
12	629 085	44 412	22 436	22 538	33 412	16 014
13	607 296	47 777	25 144	17 817	29 007	16 350
14	596 840	47 873	20 030	19 389	27 946	17 854
15	529 937	42 440	17 829	14 761	24 495	15 261
対前年比						
15/14	89	89	89	76	88	85

注：漁港名の（ ）書きは、所在する都道府県名である。

図 7 上場水揚量の主要漁港別構成割合



ア 焼津

上場水揚量は23万8,666 tで、前年に比べ4%減少した。

これは、さば類等は増加したものの、かつお（冷凍）、びんなが（冷凍）等が減少したためである。

水揚価額は424億円で、前年に比べ11%減少した。

イ 銚子

上場水揚量は21万9,612 tで、前年に比べ17%増加した。

これは、かたくちいわし、さんま等が増加したためである。

水揚価額は178億円で、前年に比べ11%減少した。

ウ 釧路

上場水揚量は16万1,602 tで、前年に比べ6%増加した。

これは、すけとうだら、さけ類等が増加したためである。

水揚価額は148億円で、前年に比べ24%減少した。

エ 八戸

上場水揚量は14万7,675 tで、前年に比べ8%減少した。

これは、するめいか、あかいか（冷凍）等が減少したためである。

水揚価額は245億円で、前年に比べ12%減少した。

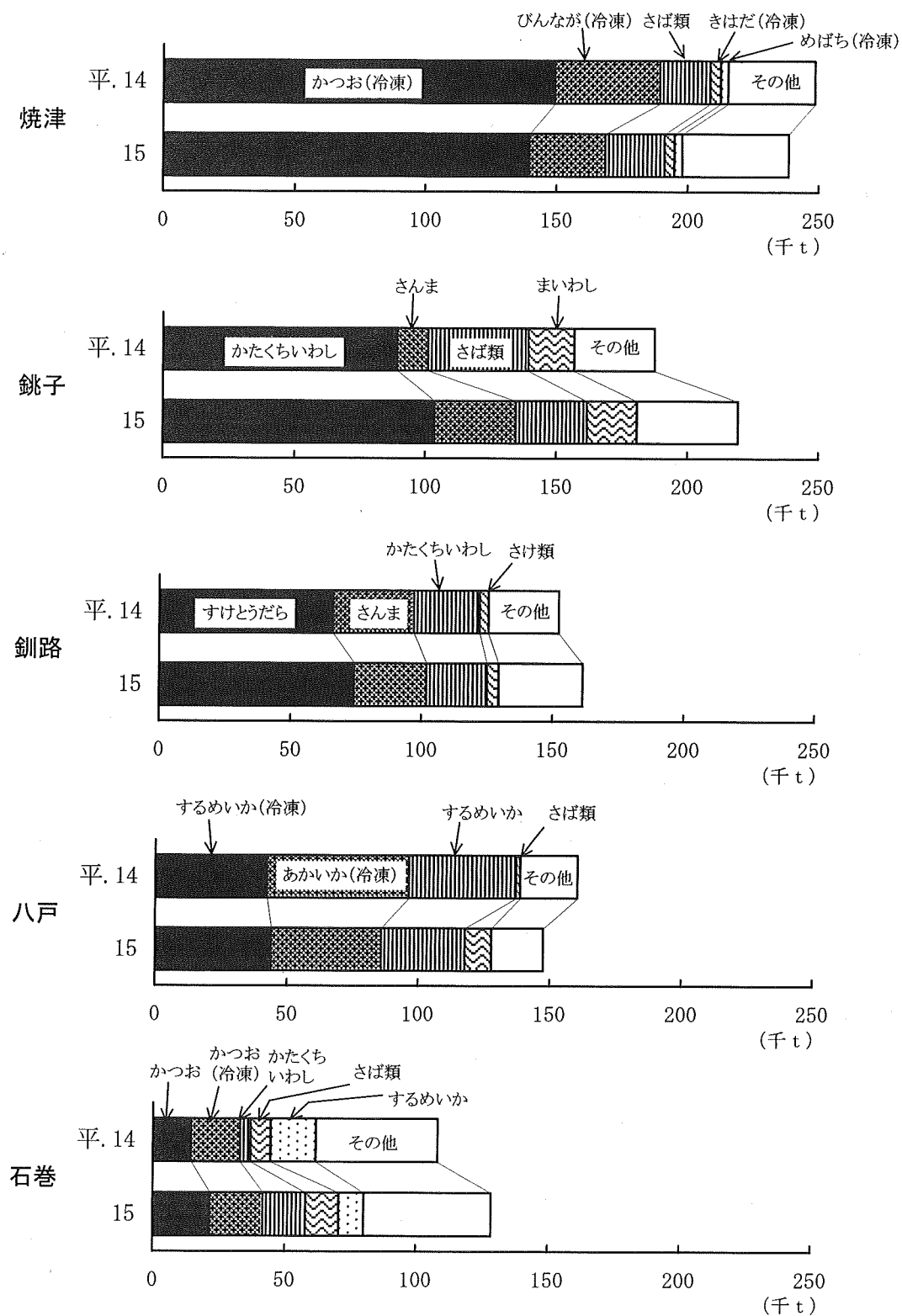
オ 石巻

上場水揚量は12万8,603 tで、前年に比べ19%増加した。

これは、かつお、かたくちいわし等が増加したためである。

水揚価額は153億円で、前年に比べ15%減少した。

図8 主要漁港の品目別水揚量の推移



2 水産物流通形態別出荷量の動き（32漁港）

(1) 用途別出荷量

用途別出荷量割合（合計）は、食用向けが71.5%、非食用向けが28.5%となった。

食用向けのうち、生鮮食用向けは28.5%で、前年に比べかつお（冷凍）が増加したものの、まあじ等が減少したため、1.3ポイント減少した。食用加工向けは43.0%で前年並みとなった。

非食用向けのうち、魚油・飼肥料向けは3.4%で、前年に比べさば類等が減少したため、1.2ポイント減少した。養殖用又は漁業用餌料向けは25.1%で、前年に比べさんま等が減少したものの、まあじ等が増加したため、2.1ポイント増加した。

表3 用途別出荷量割合

単位：％

	計 (出荷量)	食用向け		非食用向け		対前年ポイント差			
		生鮮食用 向け	食用加工 向け	魚油・飼肥 料向け	養殖用又は 漁業用餌料 向け	食用向け		非食用向け	
						生鮮食用 向け	食用加工 向け	魚油・飼肥 料向け	養殖用又は 漁業用餌料
合 計	100.0	28.5	43.0	3.4	25.1	△ 1.3	0.4	△ 1.2	2.1
生 鮮 品 計	100.0	29.1	35.3	4.3	31.3	△ 1.8	1.7	△ 1.6	1.7
冷 凍 品 計	100.0	25.9	74.1	0.0	-	△ 0.2	0.9	0.0	△ 0.7

(2) 仕向先別出荷量

生鮮食用向けの仕向先別出荷量割合（合計）は、県内向けが19.4%、県外向けが80.6%となった。

県内向けのうち、県内市場向けは8.3%、市場外向けは11.1%で前年並みとなった。

県外向けのうち、県外市場向けは72.3%で、前年に比べ1.9ポイント増加し、市場外向けは8.3%で、前年に比べ1.1ポイント減少した。

表4 仕向先別出荷量割合

単位：％

	計 (生鮮食 用向け 出荷量)	県内向け		県外向け		対前年ポイント差			
		県内市場	市場外	県外市場	市場外	県内向け		県外向け	
						県内市場	市場外	県外市場	市場外
合 計	100.0	8.3	11.1	72.3	8.3	△ 0.3	△ 0.5	1.9	△ 1.1
生 鮮 品 計	100.0	9.4	9.6	75.5	5.5	△ 0.5	0.8	△ 1.0	0.7
冷 凍 品 計	100.0	3.2	18.2	57.6	21.0	△ 0.2	△ 4.5	11.4	△ 6.7

3 消費地卸売数量、卸売価額、卸売価格等の動き

(1) 消費地中央卸売市場における動き (10都市)

卸売数量は203万4,416 tで、前年に比べ5万5,357 t (3%) 減少した。

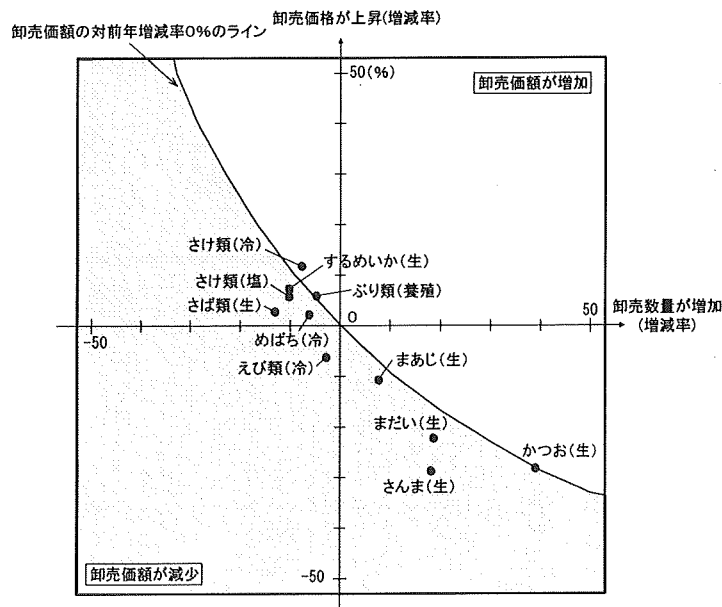
卸売価額は1兆5,520億円で、前年に比べ1,119億円 (7%) 減少した。

この結果、卸売価格(卸売価額を卸売数量で除した1 kg当たりの平均価格。以下「価格」という。)は763円で、前年に比べ33円 (4%) 低下した。(表5、図9)

表5 主要品目別消費地卸売数量、卸売価額及び卸売価格の推移

単位												卸売数量：t 卸売価額：百万円 卸売価格：円/kg	
品目 年次	計	さけ類		ぶり類 (養殖)	えび類 (冷凍)	まあじ (生鮮)	めばち (冷凍)	さば類 (生鮮)	するめいか (生鮮)	さんま (生鮮)	まだい (生鮮)	かつお (生鮮)	
		(冷凍)	(塩蔵)										
		卸売数量											
平.11	2 191 026	47 924	52 418	50 244	57 516	58 278	45 159	63 783	49 662	26 843	43 854	31 535	
12	2 183 355	50 904	54 745	46 937	58 490	57 465	48 754	50 510	54 021	30 326	41 008	39 234	
13	2 141 583	64 819	52 449	56 496	56 706	49 537	50 639	54 616	57 453	39 339	33 980	27 659	
14	2 089 773	73 146	53 289	57 408	54 940	47 918	54 780	53 515	52 060	37 025	36 321	24 494	
15	2 034 416	67 072	47 743	54 670	53 017	51 854	51 604	46 798	46 760	43 768	43 082	34 135	
対前年比(%)													
15/14	97	92	90	95	97	108	94	87	90	118	119	139	
卸売価額													
平.11	1 856 230	33 968	43 451	56 619	89 827	26 520	53 167	22 200	20 110	15 728	37 909	16 576	
12	1 787 780	29 685	37 716	53 552	91 733	24 244	50 961	19 612	19 315	17 304	38 884	15 553	
13	1 708 215	31 268	34 667	51 257	82 003	22 893	47 415	17 685	17 663	17 665	38 680	14 572	
14	1 663 827	33 010	33 791	48 944	74 259	22 265	46 335	17 922	17 817	16 961	36 009	14 103	
15	1 551 977	34 463	32 035	49 605	67 023	21 419	44 362	16 065	17 092	14 237	33 363	14 116	
対前年比(%)													
15/14	93	104	95	101	90	96	96	90	96	84	93	100	
卸売価格													
平.11	847	709	829	1 127	1 562	455	1 177	348	405	586	864	526	
12	819	583	689	1 141	1 568	422	1 045	388	368	571	948	396	
13	798	482	661	907	1 447	462	936	324	307	449	1 138	527	
14	796	451	634	853	1 352	465	846	335	342	458	991	576	
15	763	514	671	907	1 264	413	860	343	366	325	774	414	
対前年比(%)													
15/14	96	114	106	106	94	89	102	102	107	71	78	72	

図9 主要品目別卸売価額の増減(対前年比較)



(2) 主要品目別にみた卸売価格、冷凍・冷蔵工場年末在庫量等の動き

10都市中央卸売市場における主な品目（卸売数量の多い品目）のうち、価格の変動が大きい品目をみると、以下のとおりである。

ア さけ類（冷凍品）

冷凍品の卸売価格は514円で、前年に比べ63円（14%）上昇した。

また、冷凍・冷蔵工場の年末在庫量は8万5,571 tで、前年に比べ1万2,182 t（12%）減少した。

これは、水揚量が増加したものの、輸入量が減少したためである。

図10 さけ類の卸売数量及び卸売価格の推移

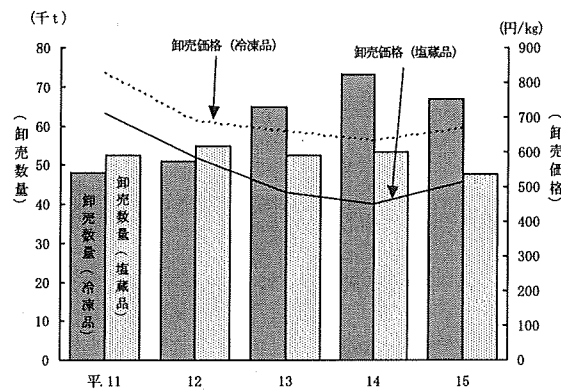


図11 さけ（生鮮品・冷蔵品・冷凍品）の輸入数量及び輸入価格の推移

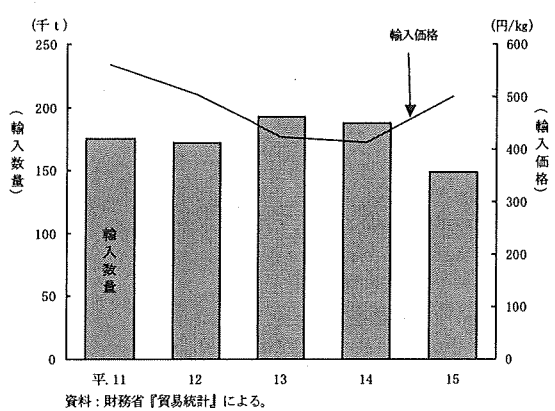
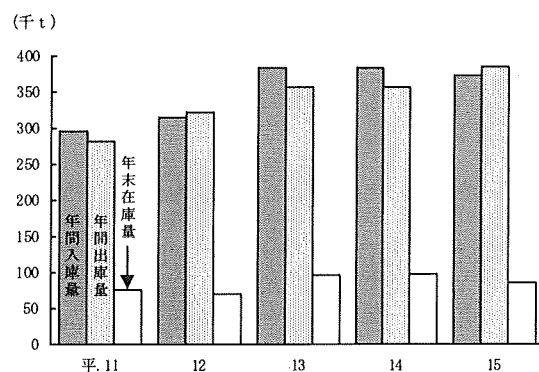


図12 さけ類（冷凍品）の年間入庫量、年間出庫量及び年末在庫量の推移



イ　するめいか（生鮮品）

生鮮品の卸売価格は366円で、前年に比べ24円（7％）上昇した。

また、冷凍・冷蔵工場の年末在庫量は6万4,449 tで、前年に比べ8,306 t（11％）

減少した。

これは、水揚量が減少したためである。

図13　するめいかの卸売数量及び卸売価格の推移

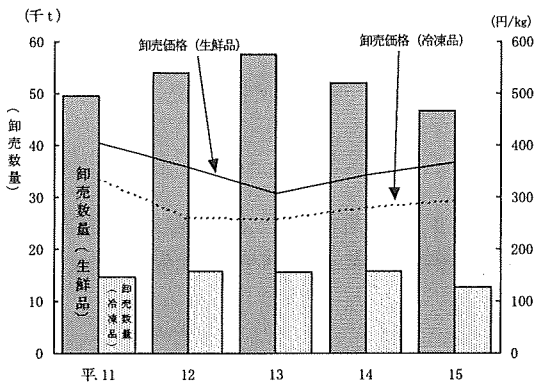


図14　いか類（生鮮品・冷蔵品・冷凍品）の輸入数量及び輸入価格の推移

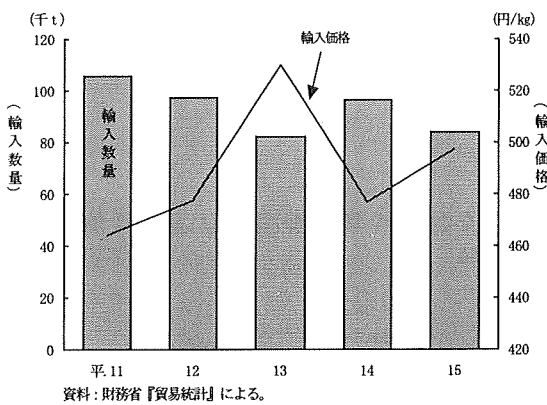
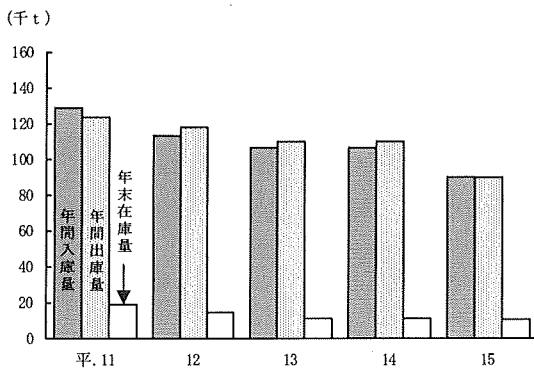


図15　するめいかの年間入庫量、年間出庫量及び年末在庫量の推移



ウ さんま（生鮮品）

生鮮品の卸売価格は325円で、前年に比べ133円（29％）低下した。

また、冷凍・冷蔵工場の年末在庫量は7万5,336 tで、前年に比べ2万5,589 t（51％）増加した。

これは、水揚量が増加したためである。

図16 さんまの卸売数量及び卸売価格の推移

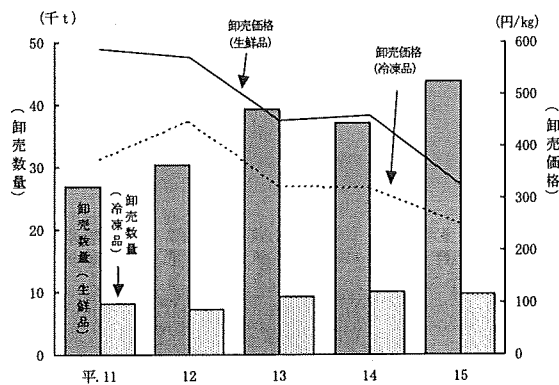


図17 さんま（生鮮品・冷蔵品・冷凍品）の輸入数量及び輸入価格の推移

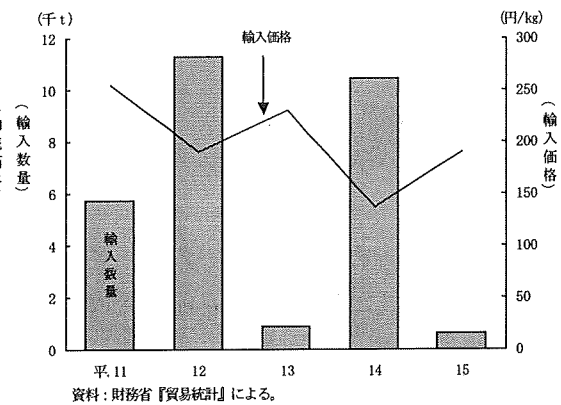
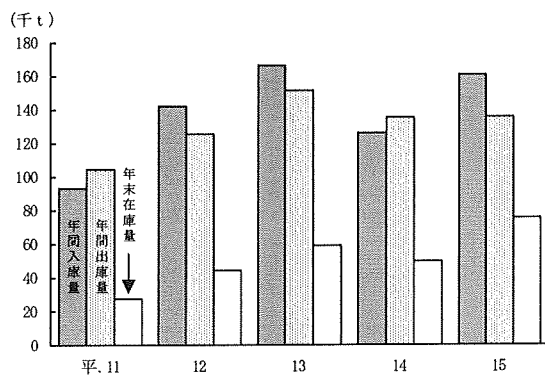


図18 さんまの年間在庫量、年間在庫量及び年末在庫量の推移



エ かつお（生鮮品）

卸売価格は414円で、前年に比べ162円（28％）低下した。

これは、水揚量が少なく価格の高かった前年に比べ水揚量が増加したためである。

冷凍・冷蔵工場の年末在庫量は2万9,396 tで、前年に比べ1万873 t（27％）減少した。

図19 かつお類の卸売数量及び卸売価格の推移

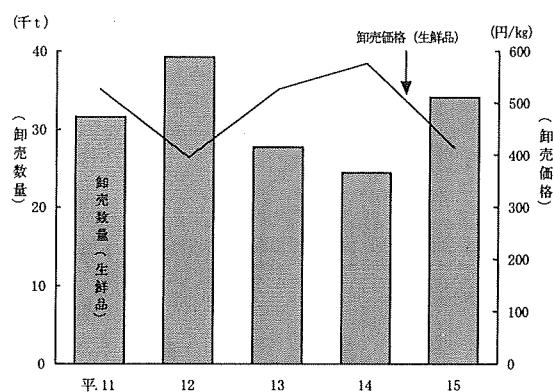


図20 かつお（生鮮品・冷蔵品・冷凍品）の輸入数量及び輸入価格の推移

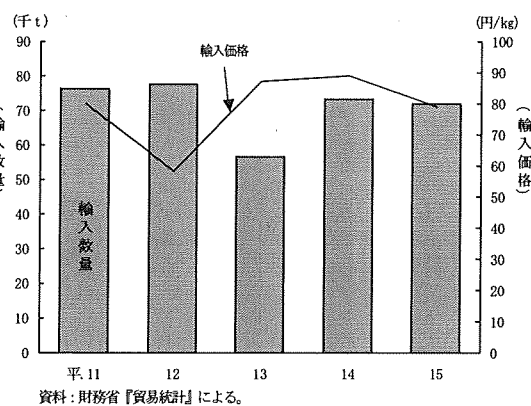
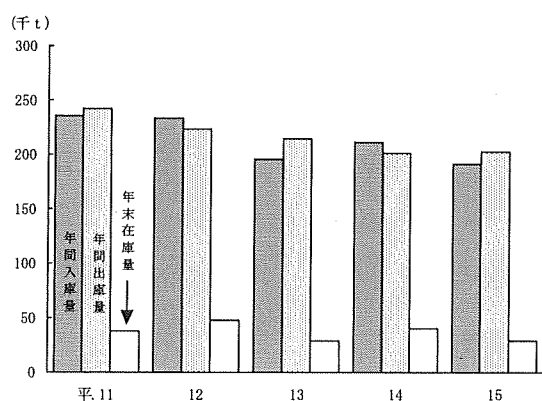


図21 かつお類の年間在庫量、年間在庫量及び年末在庫量の推移



4 陸上加工品生産量の動き

(1) 水産加工品生産量（生鮮冷凍水産物を除く。）

水産加工品生産量（生鮮冷凍水産物を除く。）は212万9,166 tで、前年並みであった。

加工種類別の生産量構成割合は、ねり製品が最も多く31%、次いで乾製品が16%、冷凍食品が15%となっている。

表6 加工種類別生産量の推移

品目 年次	計(生鮮冷凍水産物を除く。)	ねり製品	冷凍食品	乾製品	塩蔵品	くん製品	節製品	その他の食用加工品	生鮮冷凍水産物
生産量(t)									
平.11	3 073 739	716 718	335 790	377 615	229 910	11 997	123 149	513 616	1 756 033
12	2 264 399 (3 007 160)	706 592 (706 592)	329 447 (329 447)	360 682 (361 161)	248 475 (248 486)	11 125 (11 125)	125 340 (125 340)	482 738 (483 173)	1 649 115 (1 649 285)
13	2 253 227	702 920	320 814	357 114	262 995	10 355	122 187	476 842	1 584 281
14	2 135 825	676 565	315 793	341 127	221 817	12 580	116 277	451 666	1 403 763
15	2 129 166	658 293	319 582	346 680	208 947	12 848	110 770	472 046	1 548 220
対前年比(%)									
平.11	96	95	93	99	94	98	100	100	88
12	98	99	98	96	108	93	102	94	94
13	100	99	97	99	106	93	97	99	96
14	95	96	98	96	84	121	95	95	89
15	100	97	101	102	94	102	95	105	110

注：1 平成12年の数値は、平成13年調査より調査対象を見直したため、13年の調査結果と比較できるように組替え集計したものである。
なお、12年の調査結果を（ ）書きで表示した。

2 平成11年調査の計及び平成12年調査の（ ）書きの計には「寒天」及び「油脂・飼肥料」が含まれているため、計と内訳が一致しない。

図22 加工種類別の生産量構成割合

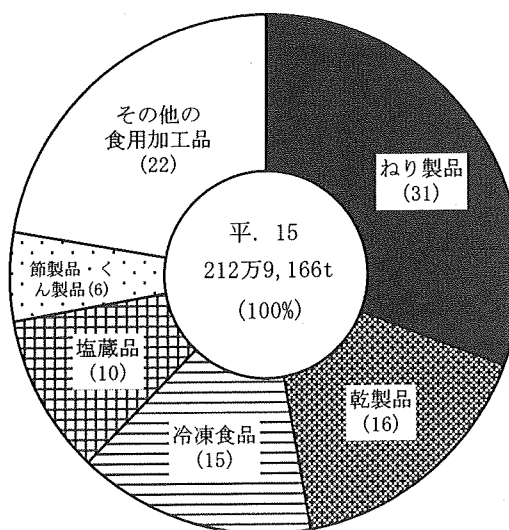
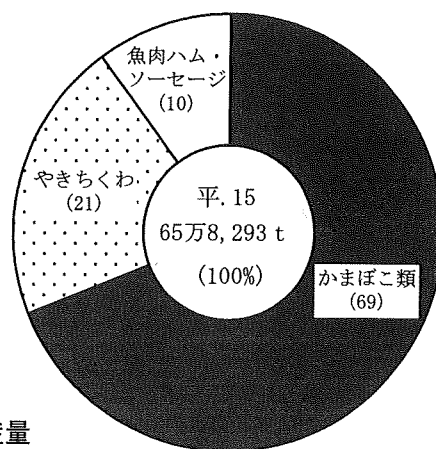


図23 ねり製品の品目別構成割合



ア ねり製品

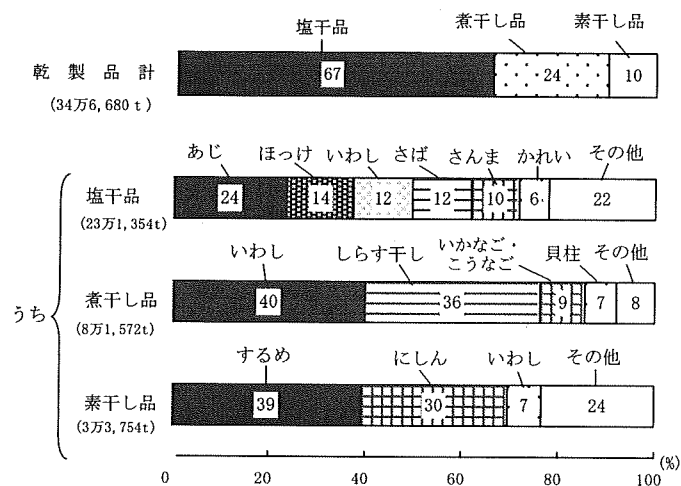
ねり製品の生産量は65万8,293tで、前年に比べ3%減少した。

また、ねり製品の品目別構成割合は、かまぼこ類が69%、やきちくわが21%、魚肉ハム・ソーセージが10%となっている。

表7 ねり製品の品目別生産量

品 目	平. 15	14	対前年比
	t	t	%
ね り 製 品	658 293	676 565	97
うち、かまぼこ類	453 374	472 967	96
やきちくわ	137 238	141 530	97
魚肉ハム・ソーセージ類	67 681	62 068	109

図24 乾製品の構成割合



イ 乾製品

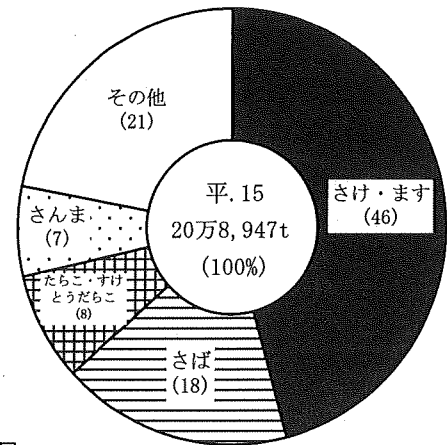
乾製品の生産量は34万6,680tで、前年に比べ2%増加した。

また、乾製品の品目別構成割合は塩干品が67%、煮干し品が24%、素干し品が10%となっている。

表8 乾製品の品目別生産量

品 目	平. 15	14	対前年比
	t	t	%
乾 製 品	346 680	341 127	102
うち、塩 干 品	231 354	222 460	104
煮 干 し 品	81 572	82 686	99
素 干 し 品	33 754	35 981	94

図25 塩蔵品の品目別構成割合



ウ 塩蔵品

塩蔵品の生産量は20万8,947 tで、前年に比べ6%減少した。

また、塩蔵品の品目別構成割合は、さけ・ますが46%、さばが18%、たらこ・すけとうだらこが8%となっている。

表9 塩蔵品の品目別生産量

品 目	平. 15	14	対前年比
	t	t	%
塩 蔵 品	208 947	221 817	94
うち、さ け ・ ま す	95 971	102 817	93
さ ば	36 606	38 409	95
たらこ・すけとうだらこ	16 396	20 256	81
さ ん ま	14 267	19 526	73
そ の 他	45 707	40 809	112

エ 冷凍食品、くん製品及び節製品

冷凍食品の生産量は31万9,582 tで、前年に比べ1%増加した。

くん製品の生産量は1万2,848 tで、前年に比べ2%増加した。

節製品の生産量は11万770 tで、前年に比べ5%減少した。

表10 冷凍食品、くん製品及び節製品の品目別生産量

品 目	平. 15	14	対前年比
	t	t	%
冷 凍 食 品	319 582	315 793	101
く ん 製 品	12 848	12 580	102
節 製 品	110 770	116 277	95

(2) 生鮮冷凍水産物生産量

生鮮冷凍水産物生産量は154万8,220 tで、前年に比べ10%増加した。

このうち、いわし類は32万731 t、あじ類は13万8,098 tで、漁獲量の増加により前年に比べそれぞれ40%、31%増加したが、いか類は7万5,302 tで前年に比べ28%減少した。

表11 生鮮冷凍水産物の品目別生産量

品 目	平. 15	14	対前年比
	t	t	%
生 鮮 冷 凍 水 産 物	1 548 220	1 403 763	110
うち、い わ し 類	320 731	229 452	140
さ ば 類	207 725	186 052	112
さけ・ます類	150 349	123 735	122
あ じ 類	138 098	105 524	131
さ ん ま	130 784	119 040	110
貝 類	94 579	85 203	111
い か 類	75 302	104 559	72
そ の 他	430 652	450 198	96

5 水産物卸売価格指数（平成12年＝100）

（1）産地水産物卸売価格指数

産地水産物卸売価格指数総合は94.5で、前年に比べ10.1%低下した。

（2）消費地水産物卸売価格指数

消費地水産物卸売価格指数総合は93.1で、前年に比べ4.2%低下した。

図26 水産物卸売価格指数の推移（平.12＝100）

